

## <令和4年度・やまなみ工房 まとめ>

### 1) やまなみ工房の一年

やまなみ工房は現在（令和5年3月31日）障害者多機能型事業所定員80名（就労継続支援B型・定員25名・現員31名、生活介護・定員55名・現員59名）として90名の利用者が在籍している。年度途中、保護者の死去に伴い入所施設へ移行した退所者1名があり、また令和5年度においては新たに7名の受け入れが決定している。

令和4年度における利用者90名の事業別内訳においては現在就労B型に31名、生活介護に59名が在籍し3つの活動班に分かれ、今年度も個々の特性やニーズをもとに各班安定した活動を行った。出勤率においては年間1日当たりの利用者数は就労継続支援B型が22.7人、生活介護が48.2人となり平均71人（昨年70名）となった。今年度定員を60名から80名に変更したことで、制度上一日当たりの利用者受け入れは100人まで可能となった。現在、併用利用や本人のペースを考慮した出勤形態をとる方も多くいるが、契約者数から見れば一日約20名の欠勤者があることから長期欠勤者等にも配慮した支援が求められた。令和5年度においては更に入所者が増えることから一日当たりの出勤者数は80人前後となる見込み。定員拡大し受け入れが可能となった今、更なるニーズに応えるためにも今後職員体制や給食及び送迎対応等整備しなくてはならない。

90名の利用者においては今年度においても、常に全体の連絡・調整を円滑に行い、利用者の健康と安全を第一に、利用者とその家族の実態に適した包括的な支援の向上、一人ひとりの意思及び人格を尊重し、安心できる時間と空間の中で「明るく・温かく・楽しく」生活ができるよう創意工夫を凝らし、心身ともに豊かな人間性溢れる支援、個々の立場に立った適切な支援と就労保障を行った。

また、日常の支援においては今年度も新型コロナウイルス感染症対策に力を入れ、感染を未然に防ぐため、厚生労働省のガイドラインをもとに昨年より継続して取り組んでいる日々の対策を更に強化し、常に万全の職員体制と環境対策を維持した。障害福祉サービスは、障害者とその家族等の生活に欠かせないものであり、感染症が発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されることが重要である。そのため常に利用者の健康状態を常に注意深く観察し把握することにより、異常の兆候をできるだけ早く発見することが重要であった。特に障害者施設では、感染症がひとたび発生すると集団発生となる例も多く、入所者も重症化するリスクが高い方も多いことから、日頃からの感染対策や施設体制の整備に取り組む必要があり、当施設においてもコロナ感染予防対策委員会を設置し、常に感染拡大の防止策に努めた。感染症対策を行った環境下での作業は、慣れない作業であるとともに、いつも以上に注意力を求められる作業であるため職員が大きなストレスを抱えている。そのため職員のメンタルヘルスについて、職場で注意を払う必要がある。具体的には、職員と管理職との間で定期的にコミュニケーションをとる機会を設

けるなど、職員の状態を把握するように努めた。昨年度末から今年度当初にかけてやまなみ工房においても感染者が多発した。障害福祉サービス事業所等における感染対策については、法律や政令などによって規定されている場合や通知による技術的助言などで示されている。

そのため、感染に関する理解を促すとともに、サービス提供側の管理体制はもちろん外出や行事に関する対応も整え、また地域における感染症の流行状況等を把握し、職員 1 人ひとりが日頃から感染対策を意識し、感染防止に向け取組んだ。

昨年に引き続き全国各地から問い合わせをいただいた見学者の受け入れについては利用者の健康を優先し長期にわたり自粛した結果、コロナ前と比べると物販をはじめ収益は厳しい状況の中ではあるがオンライン販売等様々な対策を講じた。

開設 3 年が経過したカフェにおいては年間を通し通常営業をおこなった。コロナの影響を受け客数も当初の目標と比較すると少ないものの安定している。しかしアートセンターを利用した新たな表現活動（パフォーマンス等）や余暇支援の取り組みは今も本格的に実施することは困難である。

一方、NHK E テレ（ハートネット TV）での特集をはじめ、内閣府が制作したやまなみ工房の番組は国内にとどまらず世界で大きな注目を集めたほか、小学校の教科書に掲載されるなど新聞、ラジオ、雑誌、ネット等においては今年度も多数取り上げられる等、福祉関係者のみならず社会において幅広い層に対し周知することが出来、新たなネットワークの広がりから、企業や行政とのコラボなど芸術を軸とした新たな仕事の開拓や事業へと繋がった。

また甲賀市においては市とタイアップし「ふれるとプロジェクト」を開催し、市内の小中学校やあいこうか市民ホールで展覧会やトークイベントを開催するなど大きな成果に繋がった。今後も甲賀市をはじめ多様で幅広い世代間との貴重なコミュニティーの場となるよう様々な団体や個人との交流を通じて障害者への理解を深めたい。

## 2) 施設財政

令和 4 年度においては年度当初利用者数 3 名の増加に伴い、事業活動収入合計が昨年の 159,930,786 円から 169,162,716 円と増収になり、昨年度と比較すると 9,231,930 円の増となった。しかしこのことは近年の利用者増と比例し年々増額になっているのではなく、定員を拡大する前の一昨年 167,643,675 円と比較しても単価の減額から利用者が増えているにもかかわらずほぼ同額となっている。その影響を受け昨年の決算においては 7,712,889 円の減収となったが、今期僅かではあるが結果的に回復傾向にある。また年度途中、コロナウイルスによる欠勤者が相次ぎ支援費収入への影響を及ぼした。

一方、支出においては対外的な事業も増え始め、昨年と比較すると増額ではあるが令和 2

年度、令和元年度と比較すると少ない状況である。

具体的にやまなみ工房においては大規模な施設内整備は行わず、旧施設の LED 等機器整備、送迎バスの老朽化に伴いマイクロバス 1 台の購入を行った。また展覧会やイベント開催などへの参加も増えてきているものの出費は最小限に抑えた。昨年と比較し事務費については 18,107,921 円となり昨年の 15,819,733 円と比較すると 2,288,188 円増になっている。コロナも 5 類に移行となり次年度以降は様々な事業も活発になる傾向がある。引き続きカフェ運営やイベント開催等新たな事業と合わせ、これまで継続して開催している PR-y や甲賀市との共同事業等様々な企画については、引き続き積極的に行い、今後も同様の支出を計画的に必要な経費として考えたい。

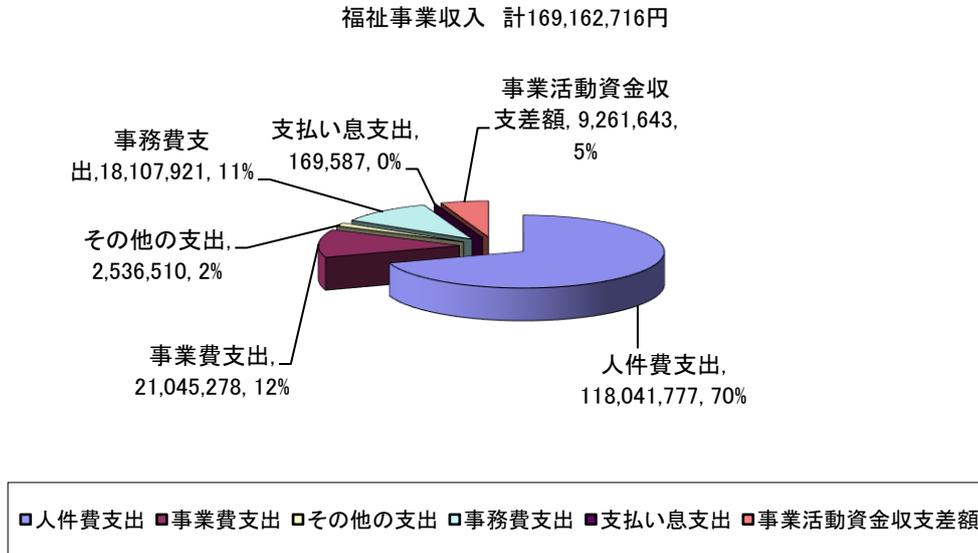
人件費においては今年度 118,041,777 円となり昨年の 114,697,672 円から 3,344,105 円の増額となった。出張経費等最小限に留め、また年度途中職員の退職等もあり欠員の状況が続いたにも関わらず増となったのは主に全ての職員の定期昇給分であるため今後も毎年職員の入れ替えがない限り同様の増額分が見込まれる。全体収益に対する比率は 70%（昨年 72%、一昨年 67%）となっている。

次年度より 7 名の利用者が増となるため幾分安定は図れるものの、それに伴うマンパワーの確保等、当面は定員拡大により厳しい経営が予想されるが、長期欠勤者の通所再開や新規利用者の受け入れを行いたい。以降においても、職員には働き方改革の推進とともに安定した処遇を保証し同時に経営面においては人件費の比率を 70%を目安に経営を図りたい。

図 1) 福祉事業活動による収支

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	111,015,789 円	112,187,909 円	114,697,672 円	118,041,777 円
事務費支出	22,790,538 円	19,647,470 円	15,819,733 円	18,107,921 円
事業費支出	20,121,112 円	24,469,934 円	20,420,143 円	21,045,278 円
支払利息支出	145,753 円	161,405 円	181,172 円	169,587 円
その他の支出	2,030,735 円	2,004,252 円	2,242,190 円	2,536,510 円
事業活動収入計	163,850,380 円	167,643,675 円	159,930,786 円	169,162,716 円
事業活動資金収支差額	7,747,530 円	9,172,705 円	6,569,876 円	9,261,643 円

図 1) 福祉的事業支出の内訳と比率



### 3) 利用者状況

令和5年3月31日現在、利用契約者数は90名（昨年89名、一昨年85名）となり就労B型・定員25名に31名、生活介護・定員55名に59名が在籍し、それぞれにニーズに応じた支援を行っている。年度当初は引き続きコロナウイルスの影響で県外の利用者や感染を恐れ一部の利用者が出勤を控え、施設としてもご家庭において自主的に一定期間自宅待機のご協力を要請し在宅支援を行った期間もあった。1年間の開所日数は247日（昨年243日）となり年間を通した定員に対する平均利用者数は、生活介護87.6%（昨年117.8%）、就労B型90.8%（昨年114.5%）となっている。在籍者も増え、これまで100%を超える利用率を保っていたが、今年度より生活介護の定員が40人から55人、B型の定員が20名から25名に増員したことで計算式の分母が変更となったため100%に満たない結果となっているが、実際の利用者人数は昨年の一昨日平均70人とほぼ同人数の71人が通所している。

引き続きコロナウイルス感染予防の為に自主的に出勤を控える利用者に対しては、日々の電話による面談等に対し出勤扱いになるなど一部補助金が適用され大幅な支援費収入減には至っていない。結果的に昨年、一昨年の一昨日の利用人数に大幅な増減はないが、毎年利用者人数が増えているにも関わらず出勤者数がここ3年変化がないことに対しては長期欠勤者への促し等を行い更に出勤率を一日当たり80人前後に上げる対策を講じなければならない。

やまなみ工房の利用者の障害程度区分においては、区分1が1名、区分2が3名、区分

3が14名、区分4が18名、区分5が23名、区分6が14名、区分なし17名の計90名となり区分なしの17人を除けば平均程度区分は4.4（昨年区分4）となりここ数年で重度判定の利用者が増となり強度行動障害等支援度も高くマンツーマン対応が必要になるなど支援度が上がっている。

一方年代比率は10代3名（昨年3名）、20代35名（昨年39名）、30代20名（昨年17名）、40代18名（昨年18名）、50代11名（昨年8名）、60代2名（昨年3名）、70歳以上1名（昨年1名）となり平均年齢は35歳（昨年34歳）である。

男女比率は男性54名、女性36名、利用者は比較的若年齢で概ね健康的である。しかし近年、問題となっている「8050問題」は障害者福祉においてもやまなみ工房においても深刻である。「8050問題」は80代の高齢の親が50代の子供の生活を支えることで、生活の基盤をすべて高齢の親が担い、そのため、親に介護が必要になったり、亡くなったりすると社会や支援が届かなくなることを差している。やまなみ工房の利用者のケースであっても、生活の基盤は80代である高齢の親が多く、そのため収入の柱である親に介護が必要になったり、先に亡くなられたりすると、一気に生活が立ち行かなくなってしまう可能性が懸念される。事実社会の中では、そうした時にどう対応していいのかさえ理解が困難で親の遺体を放置し逮捕される事例や、そのまま子供が死に至るケースも実例としてあり長期休暇の際や保護者のケアや亡き後のこと等今後の課題である。

更には保護者の高齢化、また障害の重度化に伴い生活の拠点を入所施設に移行を検討せざるを得ない利用者や、早急にグループホームに入所を希望するという利用者が複数待機している状況である。今後も保護者の高齢化等、家族の見守りにおける家庭内での生活がさらに困難な状況が心配される利用者が推定で全体の25%程度いるため、利用者のみならず家族を対象にした包括的な対応はもちろん生活の拠点を確保しなければ継続した通所が困難となる。

地域別で見ると甲賀市からは59名が通所し、湖南市から15名、草津市から3名、大津市から4名、栗東市から1名、三重県より6名、その他、京都と兵庫より2名となっている。

個々の支援の内容についてはモニタリングによる支援計画を作成し年2回の面談を全ての利用者、家族と行いニーズの確認を行った。その他日々の連絡帳での確認や健康チェック等行うほか、必要に応じ調整会議等適時行った。

昨年に引き続きコロナウイルスに関する情報提供や施設方針を電話や家庭通信でその都度明確に伝え常時検温や家族を含めた健康状態について徹底して情報収集と感染予防を行った。

今後も更なる支援サービスが必要に応じて受けられるよう慎重に対応し介護者を含め利用者一人ひとりが生きがいをもって健康且つ安全で安心できる豊かな日常が送れるよう徹底し、家庭との連携や疎通をより密接に行うこととする。また、利用者や家族の権利を正しく保障するため権利擁護事業や後見人制度の周知、苦情解決委員会の存在や苦情解決に係

る要綱の周知を徹底し、常に些細な事においても意見や質問が出しやすいよう配慮し連携を深めたい。

図 2) 生活介護 出勤率 年間平均 87.6% 1日平均 48.2人

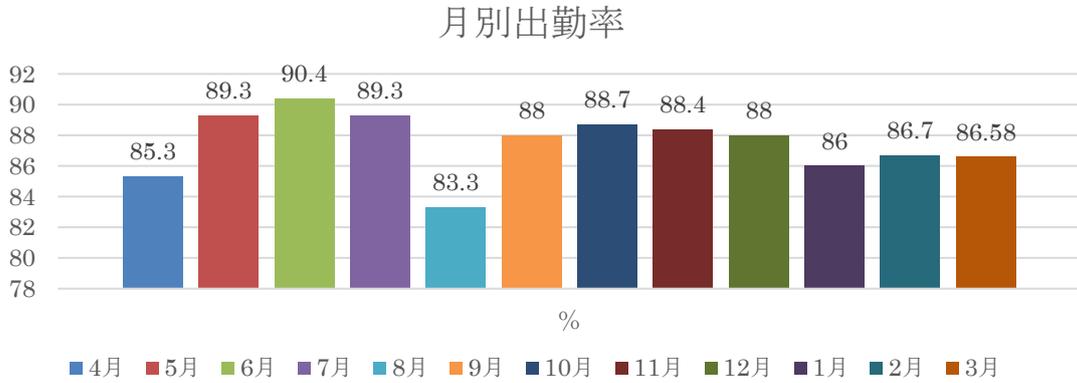


図 3) 就労継続 B 型 出勤率 年間平均 90.8% 1日平均 22.7人

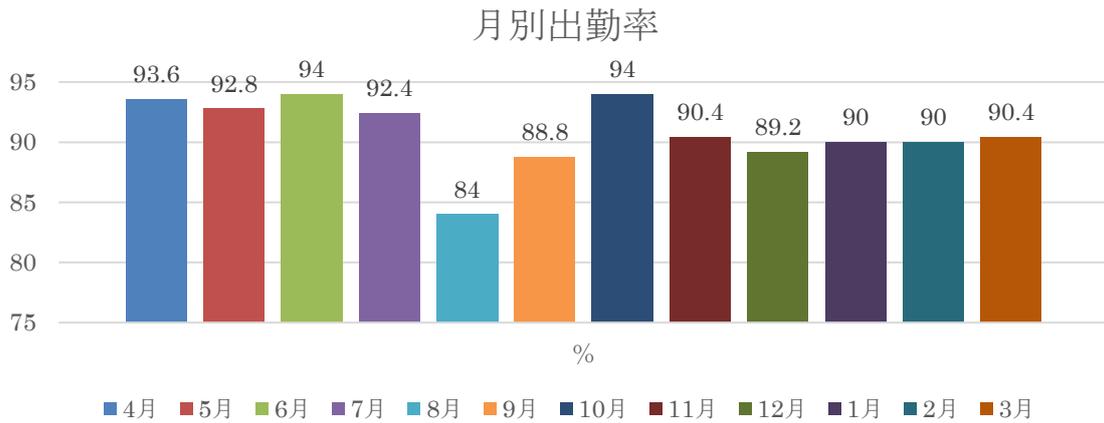


図 4) 年代別・利用者比率 (平均年齢 34 歳)

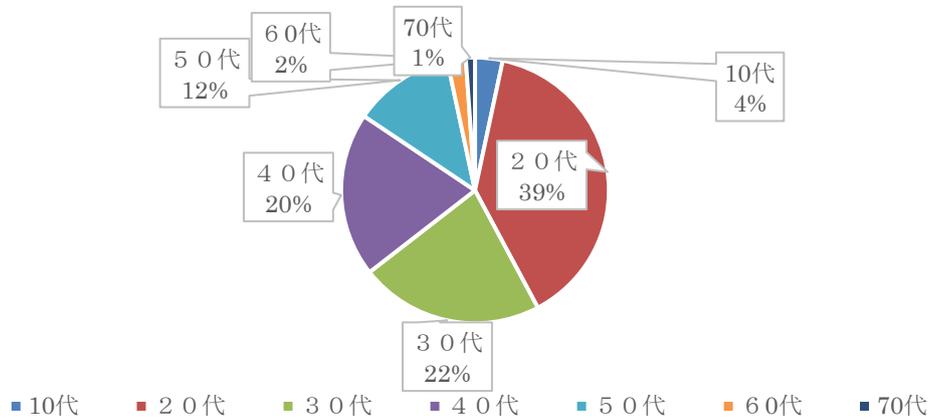


图 5) 男女別・利用者比率

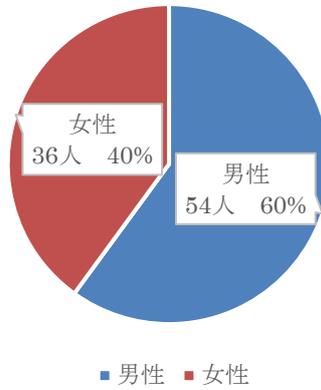


图 6) 地域別利用者

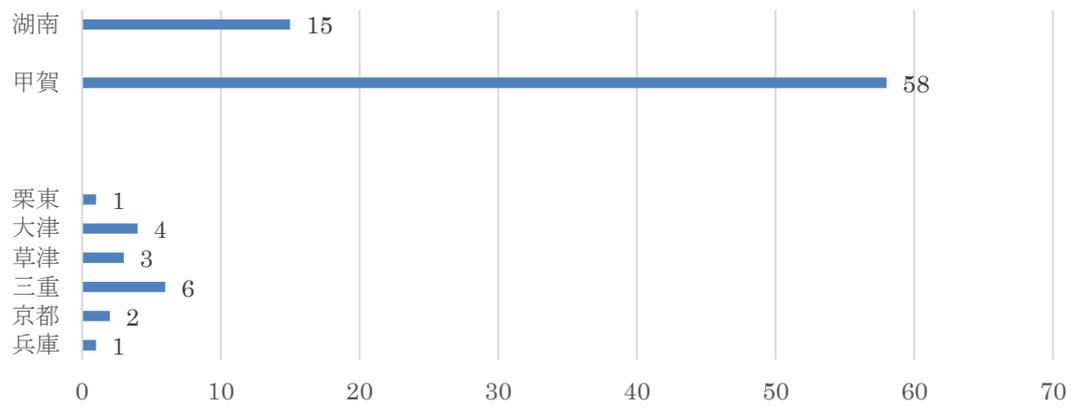
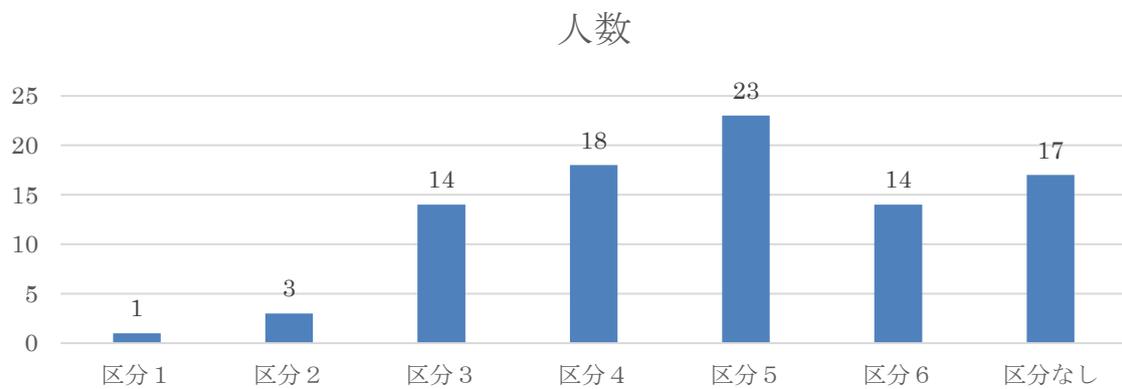


图 7) 利用者障害者支援区分 平均区分 4.4



#### 4) 授産活動

今年度においてもコロナの影響により多くの事業は軒並み減額となり、LIVE 事業等対外的な収益事業においても見通しがつかない自粛の状態が続いている。しかし展覧会や作品販売による収益は 25,600,150 円と大幅な増収となった。今年度収益 34,152,245 円は昨年の収益 27,613,800 円と約 6,500,000 円の増額となり様々な施策の結果、成果は出ている。

またアートセンター開設 3 年目に伴う見学者の増、カフェによる収益増、LIVE 事業をはじめ様々な企画は当初利用者の工賃倍増に向け大幅な収益増を見込んでいたが、コロナウイルスの影響を受け、先の読めない状況が続いた。特に見学者の受け入れは一昨年と比較すると激減し、カフェ営業やグッズ販売等に悪影響をもたらしている。

引き続き甲賀市からの受託事業収益があり積極的に取り組んだ。次年度も同様の事業収入は見込め収益以外においても幅広く障害福祉への理解の深まりを目指したい。

今後も積極的な展覧会の開催、また新たなグッズ制作による販売促進やレンタルアート、自動販売機事業の拡大など利用者の安全を確保するとともに効率的に安定した収益増を目指し、LIVE 事業等による地域交流事業や見学の受け入れについても状況を見て再開し、利用者の工賃向上につなげたい。

結果的に年間 34,152,245 円（収入到達率 141%）の収入に対し支出の総額は 30,255,345 円（昨年 26,429,466 円）となった。主な支出は利用者の著作権料や原材料費等による諸経費であり、支出が昨年より増額になっているのは書籍（写真集）増刷や発刊に伴う印刷費等も含んでいる。このことにより今年度の当期繰越金額は 3,896,900 円となる。現在授産収益の繰り越しは累計で 32,282,834 円となり内、工賃変動積立金は 6,041,320 円となる。このことから来年度利用者の賞与や工賃向上、並びに授産事業拡大に向けた授産機器整備等のため計画的用途を明確にしたい。

#### ●令和 4 年授産収入一覧

項目	令和元年度収入	令和 2 年度収入	令和 3 年度収入	令和 4 年度収入
作品販売、展覧会等	13,889,077 円	12,293,192 円	12,922,611 円	25,600,150 円
古紙回収、キャップ回収	628,292 円	340,923 円	242,160 円	195,060 円
メンテナンス	619,280 円	1,172,354 円	752,339 円	738,905 円
自動販売機	688,051 円	696,994 円	907,194 円	955,955 円
仏花・洗車	202,120 円	168,400 円	0 円	0 円

カフェ	907,937 円	3,099,931 円	2,451,710 円	2,355,575 円
見学科(4~11月)	728,350 円	260,774 円	116,500 円	601,000 円
Tシャツ、トートバック	1,629,000 円	1,354,602 円	2,482,601 円	1,423,700 円
LIVE 事業	1,235,848 円	0 円	0 円	0 円
ガチャガチャ	92,400 円	22,800 円	128,620 円	32,220 円
グッズ/ショップ	1,489,486 円	1,231,309 円	1,035,736 円	1,240,413 円
ATM 清掃/LINE	192,354 円	17,815 円	16,280 円	14,193 円
物資	379,500 円	415,570 円	604,980 円	593,770 円
その他	48,906 円	2,483,000 円	5,953,069 円	401,304 円
合計	22,730,601 円	23,557,664 円	27,613,800 円	34,152,245 円

## 5) 利用者工賃

利用者の工賃においては、それぞれ生活介護及び就労継続支援 B 型の事業別によるやまなみ工房給与規程に基づき支給した。現在の月給工賃平均支給額は一人当たり生活介護が 5,061 円 (昨年 5,706 円)、B 型が 5,611 円 (昨年 6,120 円)、全体平均については 5,312 円 (昨年 5,855 円) となった。ただし昨年より減額となっているのは通所実態のない利用者や併用利用による日払いの利用者も含んだ結果である。過去 5 年を経て一人当たりの月給は約 1,500 円昇給している。しかし現在の状況は決して十分ではなく今後最低でも全国平均 (B 型 13,000 円程度) は月額保証し、生活介護においても現在の 2 倍の工賃を保証しなければならない。

尚、利用者には賞与 (夏 5,000 円、冬 10,000 円、年度末手当 12,000 円) を支給した。

引き続き作家別著作権料については毎年契約更新をしている著作権規定に基づき支給した。内訳については現在他団体から個人に支払われる作品売り上げや出展謝金及び作品の使用料収入の 70% を月給と別途本人支給し、工賃の支給額最高は 7,105,500 円となっている。また今年度は工賃年収合計 (著作権込み)、5 万円未満が 13 人 (併用利用や長期欠勤者等)、5 万円以上が 19 人、10 万円以上の利用者は 38 人、20 万円以上が 17 人、50 万円以上が 2 人、100 万円以上が 0 人、200 万円以上は 1 人となった。

来年度においても利用者の日常のペースに配慮しながら、状況に応じた様々な活動を展開する他、新たな事業を検討し更に収益を上げ、利用者の工賃倍増を目標に取り組みたい。

## 6) 施設の充実について

今年度は送迎バスの老朽化と利用者増に伴いマイクロバスを一台購入した。その他厨房機器整備、室内 LED ライトの変換をはじめ各班の作業室についても必要備品の充実を図り、

個々のニーズに更に対応できるよう改善した。

引き続き室内外については徹底したコロナ対策を講じ、また日頃より整理整頓を行い、安全と衛生面において問題が発生しないよう常に環境整備に努め、利用者が安心安全の中、快適に活動が出来るよう充実に努めたい。

## 7) 社会参加・地域交流事業

今年度においてもコロナウイルスの影響を受け見学者の受け入れを自粛し、また LIVE 事業やワークショップも引き続き開催が出来なかった。(滋賀きょうされんの事業で一度 AC4 階を使用した映画会を行った。)

その他やまなみ会通信(年4回、郵送5,000部(関係団体・個人)、甲南町自治会回覧版)の発行は内容を充実させ好評を得ている。今年も新聞、雑誌、テレビの取材や WEB マガジン等をはじめとした掲載や様々な団体や行政の機関紙等で利用者の活動が多く取り上げられたことは地域や関係者のみならず全国的に理解へと繋がっている。

引き続きメンテナンス事業は重要な活動として継続するが、今後利用者により適した活動内容を検討したい。

また教育関係者や行政をはじめとした各種団体、全国の福祉関係者によるセミナーや映画上映会の開催等においては緩和傾向の中徐々に再開され始めている。国内外において開催される様々な展覧会やイベントはやまなみ工房の実践が発表される貴重な機会となる他、作品やグッズ販売をはじめ注目も高く今後の社会情勢に応じ予防策を徹底しながら積極的に取り組みたい。甲賀市から委託を受けた事業「ふれるとプロジェクト」については地域住民をはじめとした多くの方々との貴重な交流の場となった。

## 図 11) 令和 4 年展覧会開催報告

### 令和 4 年度・展覧会内容

展覧会名	開催場所	期日	出展作家
川内倫子写真展 やまなみー 自分が自分であるだけでいい 場所	湖のスコレ文化棟 2 階ギャラ リー(滋賀県)	2022.3.30-2022.5.8	井村/大原/鎌江/三井/ 吉川/山際
PR-y 10 周年記念展	KYOTO GRAPHIE(京都府)	2022.4.9-5.8	宮下/吉川/中尾
豊田合成 アップサイクルグッズ工芸展	東京新丸ビル(東京)	2022.4.22-5.1	神山あ/岩瀬/池上/中尾 /田村
日常をととのえる展	はじまりの美術館(福島県)	2022.4.16-7.3	鵜飼ゆ
やまなみ工房展"View from the Mirror アール・ブリュットの 世界	NU 茶屋町 4F 特設会場/8F・9F ギ ャラリー(大阪府)	2022.4.29-5.29	岩瀬/大路/KATSU/鎌江/ 川邊/栗田/神山み/田中 の/宮下/山際/吉川/吉 田り
企画展「反復と平和——日々、 わたしを繰り返す」	ボーダレスアートミュージアム NO-MA (滋賀県)	2022.4.29-7.31	吉川

やまなみ×おとさぼ アールブリュット展 Quintet ! Vol.2	滋賀大学教育学部 ラーニングコモンズ・音楽棟内 「ギャラリーおとさぼ」(滋賀県)	2022.5.9-6.30	岩瀬/井野/大家/森田/池上
『やまなみ工房-森田 郷士-』展	湖のスコーレ内ギャラリー(滋賀県)	2022.5.11-8.7	森田
自分が自分であるだけでいい場所 川内倫子×やまなみ工房	evam eva yamanashi 形(山梨県)	2022.6.18-7.10	井村/岡元/河合/鎌江/吉川/竹中/山際/神山/瀧口/田村
みんなの無限大アート やまなみ工房の宇宙	ウッドワン美術館(広島県)	2022.7.15-9.25	井上ま/井野/井村/岩瀬/鶴飼結/榎本た/榎本朱/大路/大原/大家/岡元/鎌江/上土橋/河合/川邊/栗田/神山美/酒井/清水/城谷/田中乃/田中睦/田村/中川も/林口/富士川/森田/森/三井/宮下/山際/山崎/山本/吉川/吉田ふ/竹中/池上
アール・ブリュット 2022 巡回展 「かわるかたち」	東京都渋谷公園通りギャラリー(東京都)	2022.7.16-9.25	井上ま/吉川
ヘラルボニー4周年記念 The COLOURS	ANB TOKYO(東京都) 練馬区立美術館区民ギャラリー 府中市美術館市民ギャラリー 八丈町多目的ホールおじゃれ	2022.7.16-8.7 2022.10.27-11.2 2022.11.25-12.4 2022.8.2	岩瀬/中尾
No Concept vol.1 -That's what life is all about-	N&A アートサイト(東京都)	2022.7.1-7.16	井上ま/岡元
ART for SDGs-Inclusive Art Fest in 十勝千年の森 2022	十勝千年の森「キサラ」(北海道)	2022.7.28-9.12	大家
関係するアート展 Vol.2	佐賀県立博物館 3号展示室(佐賀県)	2022.7.26-8.28	吉田ふ、川邊、清水、井村、酒井
アート大阪	クリエイティブセンター大阪	2022.7.8-7.10	鶴飼結
Goozen meet me シリーズ#3 chappy × 三井啓吾 展 「ワレワレモ宇宙人ダ」	Goozen(神奈川県)	2022.8.10-9.1	三井
中川ももこ展	湖のスコーレ文化棟 2階ギャラリー(滋賀県)	2022.8.10-12.4	中川も
オカゲニテ CRASUS (クラス) 京都 2022 「CRASUS 1st」(クラスファースト)	京都タカシマヤ7階催会場(京都府)	2022.8.17-8.22	栗田/神山美/城谷/竹口/中尾り/池上/宮下
DISTORTION3 2023SS	しまだいギャラリー(大阪府)	2022.8.27-8.28	上土橋/城谷/森/宮下
One Story やまなみ工房 25人の作家による、たった一つの物語	エスプラナードギャラリー(愛知県)	2022.9.3-9.11	井上/井村/岩瀬/大路/大家/岡元/竹中/鎌江/川越/北村/神山美/城谷/竹口/田中睦/田村/中尾/中川も/林口/森/森田/宮下/山際/山根/吉川/吉田陸
北陸工芸の祭典 「GO FOR KOGEI 2022」 特別展 「つくる-土地、暮らし、祈りが織りなすもの-」	勝興寺(富山県)	2022.9.17-10.23	鎌江/河合
滋賀の福祉の現場から生まれた造形の魅力発信事業	おごと温泉 びわこ花街道	2022.9.24-2023.3.19	池上
Goozen meet me シリーズ#5 岡元俊雄(やまなみ工房) x 濱崎仁精 展 「土を着る」	Goozen(神奈川県)	2022.10.5-10.27	岡元
ベルギー ロブ氏展覧会	ベルギー	2022.10.1-3.26	山崎
「Hand in hand - つながる-」 10人のグループ展	A/A gallery(東京都)	2022.10.29-10.30	竹中/田村
3331 ART FAIR 2022	3331 Arts Chiyoda(東京都)	2022.10.29-10.30	竹中

Fi11 RECO FES2022	大阪りんくうタウン (大阪府)	2022.10.29	岡元/田村/鎌江/山際
知的障がいのある人の習慣 (ルーティーン) がつくりだす新しい音楽 Lab5 ROUTINE RECORDS	金沢 21 世紀美術館	2022.10.1-2023.3.21	山際/酒井/上土橋
ヘラルボニーアートコレクション 異彩と出会う新たな感動	阪急梅田祝祭広場	2022.10.19-10.31	鶴飼ひ/岡元/加賀谷/森田/大家/中尾/田村
滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館 ストリートピアノ	信楽産業展示館(滋賀県)	2022.10.7-11.6	吉田ふ
第 43 回企画展 やまなみ 工房展	JGALLERY&CAFÉ(東京都)	2022.11.12-12.24	井上ま/岩瀬/大原/岡元/加賀谷/川邊/栗田/城谷/竹口/田中睦/中尾/中川も/宮下/三井/山際/吉田楓/池上
希望ヶ丘文化祭	甲南わくわく児童クラブ(滋賀県)	2022.11.13	田中む、井上、川原
幸せに向かう表現展 vol.2-表現と昇華-	新潟市民芸術文化会館りゅーとびあギャラリー(新潟県)	2022.11.16-11.20	大路、宮下、鎌江、吉川、山際、岡元、岩瀬、川邊、竹中神山み、田村、栗田、井上ま、井野、三井、吉田ひ、田中乃上土橋、森田、竹口、城谷、鶴飼ゆ、中川も、勝間、山根、中尾り、清水、河合、北村は、大家、山崎、川中、井村
やまなみ×おとさぼ アール・ブリュット展 Quintet ! vol.3~増殖~	滋賀大学教育学部 ラーニングコモンズ・音楽棟内「ギャラリーおとさぼ」(滋賀県)	2022.11.29-1.23	井上ま/栗田/瀧口/竹中/山際/吉川
近畿労金 展覧会	ろうきん肥後橋ビル	2022.11.20	吉田楓
岐阜大学教育学部公開講座	岐阜大学 講堂	2022.11.26	上土橋
脈打つアート展 Special interview	FEELSEEN KOBE(兵庫県)	2022.12.1-12.30	鎌江/竹中/神山美/吉田陸
想像する文字展 Imagine Letters/Letters Imagine	京都府立図書館(京都府)	2022.12.1-12.22	上土橋/中尾/中川も/宮下
山と湖 やまとうみ展	湖のスコーレ文化棟 2 階ギャラリー(滋賀県)	2022.12.7-3.26	井上ま/井野/鶴飼裕/岡元/岩瀬/吉田楓/栗田/三井/山根/山崎/勝間/小川/森/水上/瀬古/川越/川中/大家/大路/池ノ内/田村/田中睦/北村/林口/竹中
常設展 特集展示「川内倫子と滋賀」	滋賀県立美術館 展示室 2(滋賀県)	2023.1.11-5.7	井村も/鎌江/酒井/山際
表現するということ Vol3	福井県立美術館 (福井県)	2023.1.13-1.15	田村/岩瀬/岡元/川邊/神山み/鶴飼ゆ
脈打つアート展 Special interview	FEELSEEN KOBE(兵庫県)	2023.1.14-1.31	大路/宮下/山際/吉田陸
香港・日本展覧会 i-dART	Community Conet Area A(香港) 第一部 i-dart kitty wooGallery 第二部 i-dart kitty wooGallery	2023.1.10-1.26 2023.2.2-2.19 2023.2.21-3.7	栗田/田中む/森田/竹口/田村
~わたしがふれた、あなたのせいかい~ 令和4年度甲賀市アール・ブリュット魅力発信事業 2022 【ふ・れ・る・とプロジェクト】	あいこうか市民ホール展示室(滋賀県)	2023.2.3-2.5	鶴飼ゆ、田村、神山み、大家、田中の、栗田、吉川、岩瀬井村、河合、鎌江、吉田ふ、井上、中尾、川中、竹口、上土橋、大路、池ノ内、清水、城谷、宮下、竹中、吉田り、北村、池上、川邊、岡元、中川も、吉田ひ、水上、勝間、三好、井野、山崎、酒井、田中む、山際、

Outsider Art Fair 2023 NY	Metropolitan Pavilion(NY)	2023.3.2-3.5	鶴飼結／山本／山崎
アールブリュット展 2023 Here I am	なかの zero 西館美術ギャラリー (東京都)	2023.2.4-2.12	鶴飼ゆ
街角アールブリュット展	中野ブロードウェイ商店街(東京都)	2023.1.21-2.19	宮下
アールブリュット展 「五感をひらく」	なかの zero 西館美術ギャラリー 2 (東京都)	2023.2.4-2.19	宮下
Nadeshico レンタルアート	おさけところも(滋賀県)	2022.3.26-6.24 2022.6.25-9.22	竹中／宮下／田村／横井 一木／井野／西橋／森田
Nadeshico レンタルアート	近江バル(滋賀県)	2022.8-12.3 2022.12-4.6	中尾り／田村／横井 横井／田村／森田／大路
ART BASEL MIAMI (アートバー ゼル マイアミ)	ART BASEL MIAMI	2022.11.29-12.3	鶴飼結
香港・日本合同作品展 久しぶり！ i-dart Long time no see	堂島リバーフォーラム(大阪府)	2023.3.4-3.11	神山／岩瀬／岡元／田村／ 井上／川邊／森田／城谷／ 鶴飼ゆ／宮下
湖のスコーレ	湖のスコーレ(滋賀県)		榎本、森田
湖のスコーレ	湖のスコーレ(滋賀県)	2023.3.29～	小川、竹中

## その他特筆すべき事柄

### ●エイブルアート・カンパニー登録作家による事業

現在 3名(三井啓吾、川邊紘子、神山亜津美) 登録作家

川邊紘子

- ・トヨタコミュニティコンサート広告
- ・内田洋行カレンダー2月デザイン
- ・化粧品メーカーの HABA 研究所様より  
顧客向け配布カタログ「美容手帖 9月号」の表紙
- ・トヨタ愛知本社 コースターデザイン
- ・トヨタ自動車株式会社より  
メモ帳のデザイン使用

神山亜津美

- ・トヨタコミュニティコンサート広告
- ・お菓子のパッケージデザイン  
女性雑誌 美 st 9月号に (7/17 発売)  
ヘルシーフィリングスナックスが 4 ページにわたり掲載
- ・一般社団法人アートパラ深川(東京都) 複製画展示 15 点
- ・近畿労働金庫労働組合ご担当者様より  
組合の定期大会議案書の表紙
- ・HABA 研究所制作部のご担当者様より  
顧客向け配布カタログ「美容手帖 10月号」の表紙
- ・株式会社ノンストレスより  
ネイルアート Nail Quick (ネイルクイック) デザイン使用
- ・株式会社ジャックスより

## 社内報「カプレット」の表紙デザイン

### ●作品調査

- ・GLOW 上土橋
- ・近畿労金 エイブルアート SDG s プロジェクト 吉田楓馬

### ●冊子等掲載

- ・Nonconfirmers 作家紹介 竹中克佳
- ・社会福祉法人 いのちの電話 広報紙表紙 藤木敦仁 「ハンバーグ」
- ・福島民報新聞 「日常をととのえる」展 はじまりの美術館について 鶴飼結一郎
- ・金沢星稜大学 Art, nature and, education in East Asia やまなみ工房紹介
- ・機関誌『フィランソロピー8月号 No.268』2022年8月1日発行 川邊紘子
- ・精神医学・臨床神経学を扱う日本精神神経学会の英文誌 吉川秀昭
- ・竹内佳代 「クィアする現代日本文学 - ケア、動物、語り -」表紙大路裕也
- ・ふくしごと HIBIGEI パートナーズ 記事掲載
- ・こここマガジンハウス 7Collar and colorful colors 田中乃理子
- ・エディター&ライター 雑誌FRaU 6月号 やまなみ工房
- ・英字出版 表紙使用 宮下幸士
- ・リベラル ARTS for Business 画像使用 鎌江一美
- ・厚生労働省社会 援護局厚生労働省 note マガジン「こころの宅急便」鶴飼結一郎
- ・月刊 美術の窓 巻頭特集 鎌江一美

### ●SNS 紹介

- ・NHK あがるアート インスタグラムにて紹介  
2022年  
吉川、三井、森田、山際、竹口、田村、森、井上、鶴飼ゆ、榎本、榎本あ、横井、  
岡元、河合、鎌江、岩瀬、吉川、三井、三好
- ・NHK 厚生文化事業団メールマガジン「ハーツ・レター」vol161 栗田淳一

### ●デザイン

- ・TRUNK (HOTEL) 上土橋 トラックの絵 ワインボトルのデザイン
- ・医療財団法人はるたか会様の新オフィス・作品使用 四谷友理香、杉本かほる
- ・井上遥妃氏 横断幕 神山亜津美
- ・織田きもの専門学校 織田製菓専門学校コラボ 宮下幸士
- ・清春氏 CD シングルパッケージ 第一弾 中川ももこ

シングルパッケージ 第二弾 山根孝文

シングルパッケージ 第三弾 城谷明子

- ・マイクロソフト社 改修プロジェクト ザ・デザインスタジオ  
グラフィックシートに印刷 30F 池上 31F 中尾涼
- ・macromauro コラボ作品 岡元俊雄、内田泰代、川邊紘子
- ・甲賀市委託事業 ピアノラッピング 吉田楓馬
- ・株式会社アントレックス 商品化 宮下幸士、中尾涼、池上菜々
- ・豆ノ詠 新曲ジャケット 關文滋、川中琴樹、田村拓也
- ・つながらーとポスターデザイン使用 井野友貴
- ・ぼこぼこクラブ チラシデザイン 竹中克佳、北村悠
- ・スキルインフォメーションズ株式会社 干支年賀状 西橋、神山あ、川邊
- ・株式会社小川酒店 酒瓶ラベル 岩瀬俊一

● DISTORTION3 着用の報告

- ・4月12日 NHK うたコン 石井竜也 西本凌也デザイン
- ・6月号 AERA 表紙 高橋大輔 中川ももこシャツ
- ・7.13 FNS 歌謡祭 宇崎竜童 堤将人ジャケット
- ・9月 石井竜也 中川ももこシャツ

●映像使用

- ・社会福祉法人愛成会 法人企画事業部 織田ファッション専門学校  
ファッションデザイン/テクニカル科 2022年修了ショー 岡元俊雄
- ・内閣府政府広報室国際広報事業 海外向け広報用動画  
「障害者等の社会参加が進む日本」イメージ  
神山み、池上、富士川、吉田ふ、上土橋、川邊
- ・プラネタフィルム株式会社 NHKBS プレミアム 90分特別番組 井村ももか
- ・Eテレ ハートネットTV・あがるアートやまなみ工房特集
- ・日本文芸出版「小学校5・6年生図画工作教科書」

●ヘラルボニー企画

- ・ディズニー商品化 100周年コラボ  
齋藤、鶴飼ひ、大家、中尾り、藤木、三好、西出、中川も、服部も、山根、勝間  
堤、吉田ひ、井野、山根、西出
- ・仮囲いアートミュージアム サンシャイン池袋 ALPA 山崎菜那
- ・LIXIL 壁紙コラボ 中尾涼
- ・BIRTH GALLERY 販売 大家、岡元、中尾り

- ・仮囲い 大和リース山口下関 あかるぼーと地区立体駐車場 三井啓吾
- ・三菱地所 TOKIWA BRIDGE 会議室内装 城谷明子
- ・株式会社スタイリングライフホールディング コスメブランドデザイン山崎菜那
- ・FAV HOTEL 鹿児島アートパネル 中尾涼、大路裕也
- ・コカ・コーラ主催 東京都有明アリーナ TONAL TOKYO 空間装飾 大家美咲
- ・ソフトバンク オフィス アートパネル 神山美智子
- ・ソフトバンク 静岡オフィス アートパネル 中尾涼
- ・仮囲いアートミュージアム 大阪府船場公園内 神山美智子
- ・自社トートバック 山根孝文
- ・仮囲いアートミュージアム 積水ハウス赤坂 工事現場仮囲い 川邊絃子
- ・ミッドタウン八重洲アートパネル 川邊絃子
- ・metajapan ベルティグッズポーチ 中尾涼
- ・FOMIA JAL アメニティポーチ 藤木敦仁
- ・銀座三越 POP UP 展示 斎藤、山根、勝間、西出、中川も、藤木

#### ●アートライブ

- ・ヘラルボニーアートコレクション異彩と出会う新たな感動 岩瀬、大家、山際、井上
- ・ふれるとプロジェクトアートライブ  
井野、鎌江、井上、宮下、大家、山際、大路、竹口、神山み、田中の
- ・ふれるとプロジェクト 土山小学校 大家

#### ●HANSAM 旅するギャラリー レプリカ使用

川邊 4点、池上 2点、神山あ 4点、池ノ内 3点、三井 4点、岩瀬 1点、服部も 1点  
大家 1点、城谷 1点

MSD ギャラリー 島根県 20231月20日～4月19日 「海洋生物」城谷明子

#### ●利用者インタビュー 名古屋大学 大学院 鎌江、山際、神山み、栗田、宮下

#### ●レンタルアート 滋賀県信用保証協会 神山み、川邊、岡元

### 8) 関係団体との連携

利用者が日常安心して適切なサービスが受けられるよう、個々のケースに応じて医療機関や相談センター、行政及び福祉施設とその都度連携を図り課題解決に繋げた。特にコロナウイルスの感染対策については滋賀県、甲賀市、甲賀保健所等との連携を密にし、常に健康状態を把握し感染予防に徹するとともに従来通りの支援の保障を行った。

日中支援のみならず、利用者の家族を含めた包括的な支援や、生活の保障、権利擁護事業や後見人制度の活用についても必要に応じ行ってきた。今年度ご家族の死去に伴い自宅やグループホームで一人暮らしを余儀なくされた利用者が昨年 2 名から新たに 1 名、現在後見人制度を利用している利用者は約 5 名程度に留まっているが引き続き家庭の状況や必要性に応じ対応したい。

今年度においてはオンラインを活用し他団体が開催する研修会に一部参加し、日常の実践への意識を高めるようにした。施設内においても引き続き施設事故・虐待予防対策委員会を開催し、全職員にヒヤリハットの提出を月一回以上義務付け定例会議を行うようにし、各種マニュアルや報告書もより細部の事案に対応できるよう徹底している。(ヒヤリハット件数 174 件、昨年 197 件、一昨年 142 件)

体制上圏域のサービス調整会議や各種団体の会議には参加が今年度も難しく、積極的な関わりは困難で出席できない事が多かった。

第三者委員会への申し立て等については今年度も事例がなかった。今後もそうしたことが起こらぬよう利用者と家族の尊厳を何より保障する。

尚、4月1日に全家庭に対し、苦情申し立て及び第三者委員会の概要説明、利用者の著作権及び著作人格権等の意思確認、緊急連絡先の確認、保険説明を例年同様行った。第三者委員には年に一度訪問いただきヒヤリハットの確認や状況説明及び見学案内を行った。

日頃より家庭に対して、各班ニュースやその都度行ってきた事業等の報告は書面をもって積極的に行っている。

やまなみ工房家族会はコロナの為、書面議決による家族会総会において解散となった。今後保護者及び家族との関係が薄れないよう各種イベント参加をはじめ機会を設けたい。また年間を通し家族には物資販売等の多大な協力を得た。今後も家族の負担が少しでも軽減できるよう引き続き検討したい。

## 9) 福祉事業サービス

例年同様、通院同行や家庭訪問、電話相談他、朝夕の時間外支援、移動支援など家庭からの要望はもちろん必要性に応じて、その都度体制を整え家庭援助を行ってきた。

また計画相談担当者を中心に突発的なイレギュラーや将来を見据えた様々なニーズに対応し調整会議の開催やニーズに応じた各種サービスが迅速に受けられるよう対応してきた。

時間外受け入れについても可能な限り支援し、今後も家族への包括支援としてその都度慎重に対応したい。

今後も利用者や保護者と連絡を密にし、感染症対策をはじめ体調管理や生活基盤について細心の注意を払い、日常安定した生活が送れるよう配慮する。また家庭訪問や連絡帳を通じて細心の注意を払い、施設長、副施設長、主任を中心に個別に適切な対応を行う。

月 2 回の職員会議と合わせ、非常勤職員を含めた月一回の職員全体会議において個別ケースや緊急事例に関して対策を講じ全体で疎通をはかってきた。年間の支援計画については 6 月に個別の保護者面談を行い、活動方針の説明や各家庭のニーズ、個々のアセスメント、フェイスシートを作成し日常の支援に効率よく活かすことが出来た。モニタリングは年二回行い、支援計画等の見直しを行っている。

給食サービスについては、衛生面の徹底的な管理の向上を常に念頭に置き調理を行った。一人ひとりの障害や、健康状態に配慮する中、楽しく美味しく食すことを原則に食事を提供し、利用者にとっては健康を維持し日々の活力となり得る重要な役割を果たしている。衛生面においても徹底管理し今後も安心安全に留意し行う。

送迎サービスについては送迎対応マニュアルを策定し安全について徹底した強化を引き続き行った。また交通安全委員を配備し、より一層安全面を徹底している。今後も各家庭の様々な事情に最大限対応していきたい。(車両事故等については今期 0 件。)

次年度においても月一回(3月・4月を除く)の土曜出勤については原則継続して行う。

健康診断(年一回)や集団歯科検診、インフルエンザ予防接種等、利用者が健康で過ごせるよう配慮を行った。有料での散髪サービスは今後も継続し家庭支援へと繋げたい。

## 10) 今後の課題と事業展開

やまなみ工房は現在、甲賀市湖南市を中心とした甲賀圏域の障害者通所施設では最も利用者数は多く、定員 80 名に対し 90 名(令和 5 年 3 月 31 日現在)が在籍し、今後も利用希望者のニーズは高まる傾向にある。令和 5 年 4 月には新たに 7 名の入所者を予定している。

今後も甲賀圏域に関わらず広範囲より入所を希望する事例が予想されるが、現在の職員体制等に配慮し養護学校からの実習をはじめ現利用者に対する支援の低下を招かないよう慎重に進めなければならない。引き続き体制強化を行いながら出来る限り地域課題とニーズに応えたい。

環境整備においては旧子育て支援センター跡地を利用し個別支援に特化したよりきめ細やかな対応を更に高め、引き続き利用者の日常と工賃向上に向けた就労保障を充実させる。

今後も利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、安心できる時間と空間、そして幸せを保障し、明るく・温かく・楽しく快適に生活ができるように創意工夫を凝らしながら、豊かな人間性溢れる支援を行えるよう物的にも人的にも柔軟に対応し更なる強化に努めたい。

またやまなみ工房の取り組みを引き続き様々な媒体を使い幅広く周知し障害者に対する支援や理解が深まるよう一層努力したい。どんなに障害が重くても、労働を通じて社会に参加し、生きがいと誇りをもって心身ともにゆたかな暮らしを送れるよう、一人ひとりの利用者やその家族のニーズに対し適切な支援を行い安心して地域で日常生活が送れる事を目指し日々運営を行い、更なる支援強化に努めたい。